

土壌診断処方箋のポイント

レイアウト(園芸・畑作物用)

＝施肥設計処方箋＝ 営農技術センター 分析担当者： 分析日：2014年7月10日 No. 1

市町村 営農技術C 氏名：千葉 太郎 ほ場名：南①

団体： **Check!** 作物：キャベツ、春どり栽培 土壌：

分析値の判定	pH	EC (mS/m)	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	CEC	交換性陽イオン			陽イオン飽和度	石灰/苦土 (当量比)	苦土/加里 (当量比)	可給態リン酸	リン吸	腐植
						石灰	苦土	加里						
分析値の判定	やや高い	41	—	適正	30	やや不足	やや不足	適正	56	4.7	1.0	適正	—	やや少ない
推奨値	下限 6.0 上限 6.5	0 30	— —	0 5	— —	369 553	53 106	31 155	55 94	2.0 6.0	2.0 6.0	20 100	— —	20 100
改良後予測値	6.4	—	—	—	—	364	80	120	65	3.3	1.6	90	—	—

分析値判定の基準	判定	低い・不足・少ない	やや低い・やや不足・やや少ない	適正・標準	やや高い・やや過剰・やや多い	高い・過剰・多い
		pH	下限-1未満	下限~下限-0.5	推奨値内	上限~上限+0.5
硝酸態窒素			推奨値内	5~10mg/100g	10mg/100g以上	
石灰・苦土・加里・リン酸		下限の50%未満	下限の50~100%	推奨値内	上限の100~150%	上限の150%以上
腐植		2%未満	2~5%	5~10%	10~20%	20%以上

ポイント①

土壌養分の様子が5段階の基準で判定されます。

旧	分析値	pH	EC (mS/m)	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	CEC	交換性陽イオン			陽イオン飽和度	石灰/苦土 (当量比)	苦土/加里 (当量比)	可給態リン酸	リン吸	腐植
							石灰	苦土	加里						
	分析値	6.9	41.0	—	3.0	30	330	50	120	56	4.7	1.0	90	—	4.20
	基準値 下限	6.0	0	—	—	—	369	53	31	55	2.0	2.0	20	—	20
	基準値 上限	6.5	30	—	—	—	553	106	155	94	6.0	6.0	100	—	100
	改良後推定値	6.5	—	—	—	—	353	103	120	67	2.5	2.0	90	—	—

新	分析値の判定	pH	EC (mS/m)	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	CEC	交換性陽イオン			陽イオン飽和度	石灰/苦土 (当量比)	苦土/加里 (当量比)	可給態リン酸	リン吸	腐植
							石灰	苦土	加里						
	分析値の判定	やや高い	41	—	適正	30	やや不足	やや不足	適正	56	4.7	1.0	適正	—	やや少ない
	推奨値 下限	6.0	0	—	—	—	369	53	31	55	2.0	2.0	20	—	20
	推奨値 上限	6.5	30	—	—	—	553	106	155	94	6.0	6.0	100	—	100
	改良後予測値	6.4	—	—	—	—	364	80	120	65	3.3	1.6	90	—	—

ポイント②

分析値が表示されない項目の不足・適正・過剰を判断する基準表を参照します。

分析値判定の基準	判定	低い・不足・少ない	やや低い・やや不足・やや少ない	適正・標準	やや高い・やや過剰・やや多い	高い・過剰・多い
		pH	下限-1未満	下限~下限-0.5	推奨値内	上限~上限+0.5
硝酸態窒素			推奨値内	5~10mg/100g	10mg/100g以上	
石灰・苦土・加里・リン酸		下限の50%未満	下限の50~100%	推奨値内	上限の100~150%	上限の150%以上
腐植		2%未満	2~5%	5~10%	10~20%	20%以上

不足

過剰

基準表を参照しておおまかな各養分量の推定を行います。

養分量の推定方法

① pHの判定は推奨値「6.0~6.5」に対して「やや高い」の判定

分析値の判定	pH	EC (mS/m)	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	CEC	交換性陽イオン			陽イオン飽和度	石灰/苦土 (当量比)	苦土/加里 (当量比)	可給態リン酸	リン吸	腐植
						石灰	苦土	加里						
分析値の判定	やや高い	41	—	適正	30	やや不足	やや不足	適正	56	4.7	1.0	適正	—	—
推奨値 下限	6.0	0	—	—	—	369	53	31	55	2.0	2.0	20	—	20
推奨値 上限	6.5	30	—	—	—	553	106	155	94	6.0	6.0	100	—	100
改良後予測値	6.4	—	—	—	—	364	80	120	65	3.3	1.6	90	—	—

②基準表を参照し、pHが「やや高い」と判定される基準は推奨値から+0.5までの範囲なので、分析値は6.5~7.0までの間と推定します。

ポイント③

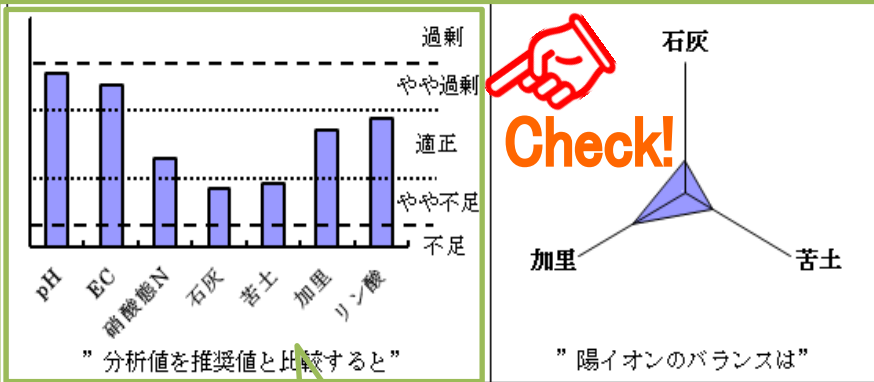
養分バランスグラフを参照します。

養分バランスグラフにECと硝酸態窒素の項目が追加されました。また、従来は過剰、適正、不足の3段階判定でしたが、やや不足、やや過剰を加えた5段階の判定に変わります。

ポイント④

銘柄・施用量を参照します。

診断コメント、施肥・土壌改良の提案を参照し、施肥・土づくりの参考とします。



診断のコメント:

- ・ECが高いです。ECが下がるとPHが上がります。注意して下さい。
- ・石灰が不足していますが、PHが高いので、畑のカルシウムを施用して下さい。
- ・苦土がバランス的にも不足しているので、施用して下さい。(苦土は多量施用の必要があります)

施肥と土壌改良の処方箋	施用量 kg/10a	有効成分量 (kg/10a)				
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO
施肥基準		13	19	13		
肥料						
マイルド有機030号	120	12	16	12		
施肥量計		12	16	12	0	0
土壌改良資材						
硫マグ(粒、粉)	120					30
畑のカルシウム	120				34	
たい肥						
合計		12	16	12	34	30